

Web による大型捕獲罠の遠隔監視・操作システム

みえ まる三重ホカケンの開発

利用対象： 獣害対策のなかで大型捕獲罠を導入する市町村、獣害対策協議会

開発の背景

シカやイノシシを集団捕獲する罠が普及

ドロップネットや大型の囲い罠などでシカやイノシシの高密度地域で集中的な捕獲を行う必要性が高まっている



ドロップネット



大型囲い罠



確実に複数頭のシカやイノシシを捕獲するためには、罠の近くで監視が必要

そこで...

Web 上で檻や罠を遠隔監視・操作できるシステムを開発！



ドロップネットに設置



囲い罠に設置



加害獣をまとめて捕獲

成果の特徴や注意点

- ・システム開発は鳥羽商船高専と(株)アイエスイーとの共同で実施しました。
- ・シカやイノシシの檻・罠だけでなく、サル的大型箱罠など、種々の大型罠の監視と操作が可能です。
- ・檻の操作に当たっては、狩猟免許(檻罠)の所持が必要となります。
- ・(株)アイエスイー(0596-36-3805)にて販売中であり、他県も合わせて既に14基が導入済みです。
- ・ドロップネットでの捕獲は1ヶ所の累計で最大36頭、囲い罠では最大28頭です。(全て、2013.3月現在)

1. 背景とこれまでの課題

シカ、イノシシの高密度地域では、被害を軽減するために大型囲い罠やドロップネットなどの大型捕獲罠で集中的な捕獲を実施する必要性が高まっています。しかし、これらの罠で確実に多数の加害獣を捕獲するためには、罠の近くで監視と操作が必要になります。長時間の監視は人的に負担がかかるうえ、動物に気づかれるなどで、効果的な多頭捕獲が進まない原因の一つとなっていました。

そこで、インターネットの Web で罠を遠隔監視し、罠のトリガーも操作できるシステムを開発しました。

2. 成果の概要

- (1) システムの構成は、罠側にネットワークカメラ、インターネット回線に接続可能なデータ通信カード、無線ルーター等を設置します。監視者側はパソコンやタブレット端末により監視と操作を行います。
- (2) システムは携帯電話のインターネット回線を利用してインターネットに接続するため、罠の設置場所は携帯電話が使用可能な地域であれば、どこでも遠隔監視と操作が可能です。電源はソーラーパネルとバッテリーにより供給することから、電源についても設置場所は選びません。
- (3) 監視と操作は PC 以外にタブレット端末やスマートフォンなど、インターネットに接続して画像が閲覧できる媒体であれば使用可能です。
- (4) 囲い罠、ドロップネットだけでなく、サル用の大型箱罠などにも設置することが可能です。
- (5) 本システムによる捕獲実績は、1ヶ所の累計でドロップネットがシカ36頭、囲い罠がシカ28頭、サル40頭で、1回の最大捕獲数はシカ6頭、サル12頭です(2013年3月15)日までの成績)。
- (6) 「まる三重ホカクン」という商品名で(株)アイエスイー(0596-36-3805)にて販売中であり、現在、三重県、岐阜県、滋賀県、高知県の8自治体で14機が導入済または導入決定されています。

3. 成果の慣行技術への適合性と経済効果

- (1) 県内外の囲い罠、ドロップネットなどの大型捕獲罠の捕獲効率を向上させ、加害獣の高密度地域での生息密度低下に貢献できます。

4. 普及上の留意点

- (1) 罠の操作には狩猟免許(檻・罠)の所持が必要です。

お問い合わせ先	地域連携研究課 中央農業改良普及センター	山端直人 宇野敦善	電話 0598-42-6356 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重県農業研究所HPにも詳しい資料が掲載されています。 http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/		
研究実施予算	地域捕獲力強化促進事業		